

雨を知る

5月初め頃から秋にかけては、前線や台風の影響で、大雨や洪水、暴風などによる自然災害が発生しやすい季節です。

特に九州南部は、5月下旬頃から7月中旬頃にかけて梅雨時期となります。

今年、肝付町を含む九州南部は、今年6月11日に梅雨入りしたと発表されました。これは、平年より12日遅く、昨年より31日遅くなっています。平年、梅雨明けは、7月15日ごろと予想されており、今後、大雨による土砂災害や河川浸水に備える必要があります。

備えるためにはまず「知る」ことが大切です。

今回は皆さんがいざとなったときに備えられるよう、肝付町の「雨」についてお伝えします。

● 鹿児島県全体の雨を知る

左の表は、気象庁が令和3年3月に公表した都道府県別の30年間（1991～2020）の降水量平年値を基にランク付けしたものです。

鹿児島県の降水量平年値は、全国3位で、全国平均の約1.46倍の降水量を記録しています。

ランク	都道府県	観測所	平年値(mm)
1	高知県	高知	2666.4
2	宮崎県	宮崎	2625.5
3	鹿児島県	鹿児島	2434.7
～省略～			
21	福岡県	福岡	1686.9
全国平均			1662.4
22	徳島県	徳島	1619.9
～省略～			
45	北海道	札幌	1146.1
46	岡山県	岡山	1143.1
47	長野県	長野	965.1

【気象庁公表の県別降水量平年値】

● 肝付町の雨を知る

肝付町には「肝付前田」と「内之浦」の2か所の地域気象観測所があります。

下の表は、気象庁が公表している鹿児島県内37か所の降水量平年値をランク付けしたものです。また全国ランクは、全国の観測所1314地点のうち、

データが公表されている1231地点におけるランクを示しています。内之浦は県内5位、全国32位、肝付前田は

浦は県内5位、全国32位、肝付前田は

県内ランク	観測所	平年値	全国ランク
1	屋久島	4651.7	1
2	中之島(十島村)	3626.7	9
3	尾之間(屋久島)	3399.2	16
4	吉ヶ別府(鹿屋)	3273.1	24
5	内之浦	3233.5	32
～省略～			
15	肝付前田	2747.6	110
16	溝辺	2692.8	118
17	鹿屋	2685.6	121
18	大隅(曾於)	2665.6	125
県内平均		2646.5	
19	指宿	2602.1	137
～省略～			
37	与論島	1798.1	520

【県内観測所の年間降水量平年値】

県内15位、全国110位と、かなり雨の多い地域にランクしていると言えます。

● 肝付町周辺の雨を知る

また、表中の緑色のマスは、鹿屋市内にある気象観測所です。吉ヶ別府の降水量平年値は県内4位、鹿屋は県内17位です。この2か所もかなり雨の多い地域になります。

鹿屋市内に降った雨は、肝属川に流れ込み、1～2時間程度で下流域の肝付町に達することが予測されます。

つまり、大雨警報等の気象情報が発表された場合は、上流域の降水量にも注意する必要があります。

[雨の強さと降り方]

1時間雨量(mm)	雨の強さ	人の受けるイメージ	人への影響	屋外の様子
10以上～20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	 地面からの跳ね返りで足がぬれる	地面一面に水たまりができる
20以上～30未満	強い雨	土砂降り	傘をさしていてもぬれる	
30以上～50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	 	道路が川のようになる
50以上～80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴォーと降り続く)	傘は全く役に立たない	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖感を感じる	 	